

24年度・第2回品質保証分科会議事録

- ・日時 平成25年1月15日（火）11:00～14:30
- ・場所 鉄鋼会館806号室
- ・出席者 高木理事長
臼井主査（富士鉄鋼センター）
上遠野（産鋼スチール）、小日向（JFE 鋼材）、渡辺（日新シャーリング）、
村山（中部鋼鉄）、大番屋（日鐵神鋼シャーリング）、自見（自見産業）
事務局（柘野）

- ・経過

臼井主査の司会により、以下の通り議事が進められた。

1. 改善要求すべき不合理な契約・商習慣の洗い出し・検討

臼井主査より、昨年12月に実施した「建材取引における不合理な取引事例に関するアンケート結果」について説明が行われた後、種々意見交換が行われた。主要意見は以下の通り。

（1）実貫重量（切板の算定重量）と角重量について

- ・北海道の建値が一部を除いて実貫量単価のため、関東の角重量単価と単純比較され、顧客から、「本州より加工賃が高い」と誤解されている。この誤解を解くためには、角重量に換算した資料提出の手間が必要になる場合がある。（上遠野）
- ・顧客、物件ごとに異なる。（渡辺）
- ・実貫重量で単価を設定している。（臼井）
- ・「先原寸を先に下さい」という活動を昨年央から行っている。その上で次のロット発注時には、角重量算定に変えるようお願いしている。（大番屋）
- ・かつて九州では角重量への動きがあり、分科会を設置して研究した経緯がある。これで業界の足並みが揃った時期もあるが、現状では個社毎に対応している。（自見）
- ・橋梁の場合、結果を見てから歩留を計算し、85%を超えた場合は顧客とシャーが折半。
- ・角重量にすれば、実貫に比べて材料コストの面で有利。実貫重量ではとれるものもとれない状況。
- ・顧客が歩留をしっかりと見てくれないことがシャーの収益低下の要因である。この点に着目し、実貫にするか角重量にするか重要な問題だ。今年は値戻しへの勝負年であり、今年を逃したら商習慣是正の機会を永らく失うことになる。

（2）統一ルール作成の考え方について

- ・建値を統一・標準化しないと、交渉時の話がブレてしまい、困窮する時が多い。全国統一の“旗”が必要。

- ・「角重量」に統一して、見積りが出せるようにするべきだ。
- ・「物価版」のエキストラがとれている時はいいが、とれないと非常に苦しい。
いろいろな競争条件はあるが、一定の基準を設定したほうが良い。
- ・組合員は高炉系シャーだけではないので、全組合員に関心を持ってもらうには、町場の物件、在庫材から切るケースも考慮に入れたルールを作るべき。
- ・鉄骨の場合、見積もり段階での歩留は分からない。このためシャーは顧客から歩留
が保証されず、実損を被っている。これに対し、建産機は歩留保証が確立している。
- ・何を基準に見積りを作成すれば良いか分からない。簡潔な全国ルールが必要だ。
- ・今回のワークは不合理な商習慣を是正することが目的。その一つが歩留保証の問題
であり、もう一つは見積り時点と実行時点の時間差の問題である。
- ・不合理的事例是正に向けた必要条件として、組合としての考え方・ルールの統一化が
必要だ。ケースによっては「個別協議」を行えば良い。
- ・A4 1枚の“ひな型”を作成したらどうか。附則に詳細な基本項目を書けばよい。
- ・基本契約文は必要不可欠な事項を述べる程度とし、附則には、エキストラ、歩留、
タイミング、変更等に関する取り扱いについて詳細に記述する。
- ・本会で、附則に書き込む基本項目を固める必要がある。
- ・ファブ業界以外は、基本契約書は持っている。財務・法務両面からみても基本契約
書が存在しないことはコンプライアンスに抵触する可能性あり。
- ・不合理な商習慣の是正は、“ゼロベース”からやり直す必要がある。
- ・シャーとしては、当事者のファブの認知を喚起し、説得するしかない。ゼネコン・
設計会社には官公庁の力も借りながら、世論を一つの方向に持っていくしかない。

(3) 今後のワークについて

組合の指針作成に向けて、基本項目を何にするかを検討して取りまとめる。

また、不合理な商習慣についても、アンケート結果（1月15日時点）以外に追加する事例があれば提案いただくこととする。

【次回までの検討課題】

- ①本日の提案・議論された内容以外に、「見積書ベース」の項目として付記するものがあるかどうか。
- ②本件は、あくまで品質証明ガイドライン（GL）の適用実施を前提としているので、GLの文言等をもう一度点検・チェックし、付加する項目があるかどうか。
- ③上記の質問項目は、後日各委員に、E-メールにて依頼する予定。

2. 次回日程

- ・平成25年2月27日(水) 15:00～17:30 鉄鋼会館806号室
※当日は会議終了後、食事会を開催する予定。

以上